解答例

第１問

5　10　15　20　25　30

設問Ａ

⑴大航海時代、欧州を中心とした国際交易活発化で、欧州から牛が、また南米原産で飼料作物のとうもろこしが世界各地に拡散した。

⑵欧州では産業革命により、化石燃料の消費量が増加し、それに伴って発生した酸性雨によって、酸性の土壌が地中に残された。

⑶冷戦聡明期、米国やソ連を中心に、核実験が行われたため。

⑷Ａ－アルミニウム　Ｂ－コンクリート　Ｃ－プラスチック

⑸自然分解しにくいために海洋汚染を引き起こした他、廃棄処理時に二酸化炭素などの温室効果ガスを発生し、地球温暖化を招いた。

設問Ｂ

⑴ガス－メタン、農産物－米

⑵５月は小麦、11 月は米の収穫期で、収穫後に麦藁・稲藁の野焼きが行われ、比較的乾燥する気候もあり、延焼が起こりやすいため。

⑶経済成長の進むインド北部で工場や自動車から排出される大量の排ガスが、高日季の南西季節風によりヒマラヤ中腹まで拡大する。

第２問

5　10　15　20　25　30

設問Ａ

⑴アーベトナム　イー韓国　ウーチリ

⑵漁獲量が年々減少する一方、新興国の人口増大や経済発展による需要増大に合わせ、養殖技術や輸出用養殖業が発達したため。

⑶(A)コイ　湖沼

(B)エビ　マングローブ林

(C)サケ（サーモン）　フィヨルド

⑷薬品や餌の過剰投与で水質汚染や生態系の破壊が進んだため、稚魚を放流し水産資源保護に繋がる栽培漁業が推進されている。

設問Ｂ

⑴生産責任制導入により農家の生産意欲が向上したため。

⑵社会主義崩壊に伴う経済低迷で農業補助金削減が行われ農家の肥料不足が発生し、また、農地細分化も受け生産効率が下がったら。

⑶経済成長に伴う肉類消費拡大による飼料需要増加を背景に、食料安全保障の観点から主要穀物である小麦の国内自給達成を図った。

第３問

設問Ａ

⑴扇状地

⑵尾根は針葉樹林、谷は荒れ地となった。

⑶軟弱な地盤と集中豪雨により土砂災害が発生し、土石流が谷に沿って住宅地へ流れるため植生が失われ荒れ地となった。住宅街への土石流の流入を防ぐため砂防ダムが建設された。

⑷都市化に伴う人口増加により住宅が不足し、安価で上下水道が整備された土砂災害危険地域の山麓付近に可住域が広がったから。

設問Ｂ

⑴Ａ－富山県　Ｂ－沖縄県　Ｃ－北海道　Ｄ－東京都

⑵豪雪地帯の北海道では屋根からの落雪事故を防ぐため。台風の襲来が多い沖縄では強風による家屋への被害を軽減するため。

⑶大都市圏に人口が流入し、容積率が高く耐震耐火性に優れた、非木造の高層集合住宅が技術水準向上により増加した。

⑷大都市圏では<u>世帯規模</u>の縮小に伴い、新たな住宅開発が進み住宅総数が増加した一方、<u>地方圏</u>では若年層流出による<u>高齢化</u>で、死亡や生活困難者の転居による空き家の発生が頻発しているから。

©臨海セミナー 地理科